



## 石見まちづくり協議会

―地域のシンボル・大倉山の保全と  
eスポーツによる地域・世代間交流―

石見まちづくり協議会では、各自治会の活動を応援しながら、地域全体のイメージアップや、安全で活力ある地域づくりに努めてきました。

石見地域は、古くから大倉山をシンボルに住民が相和し、地域づくりに取り組んできました。この伝統ある地域性を今後も大切に、住みよい地域づくりに住民みんなで取り組んでいきます。

今年度は、石見地域のシンボルである大倉山の登山道と登山道案内看板の修繕を行い、貴重な地域資源の更なる活用を目指します。

石見地域の地域資源には、令和6年12月に開業100周年を迎えるJR上石見駅もあります。昨年度からPR活動を開始しており、今年度も引き続き写真展示などの企画を行う予定です。

また、今年度の活動のもう一つの柱として、eスポーツによる地域・世代間交流を計画しています。子どもからシニア世代まで一緒に楽しむことができるコミュニケーションツールとして、eスポーツを活用したいと考えています。

石見まち協では、令和4年度にゲームの力でシニアの健康寿命延伸をサポートする「健康ゲーム指導士」の資格を取得しました。今後は資格を活かし、百歳体操の会場での出張・出前講座などにも取り組んでいきます。



地域のシンボルである大倉山。登山道等の環境を整備し、大山や花見山、岡山県側の山々が一望できる大倉山の魅力を登山愛好家にPRしていきます。



和太鼓リズムゲームで、幅広い世代の交流を行います。また、内容が固定化しつつある百歳体操の場でも活用し、活動の活性化を図ります。

## まち(むら)協 7者7様

特集

～それぞれに特色ある

まち(むら)づくり協議会の取り組み～

日南町では、7つのまち(むら)づくり協議会が、それぞれの地域の特色ある地域づくりの取り組みを行っています。地域のみなさんが自らの地域の課題をまち(むら)協に持ち寄り、知恵をしぼり工夫を凝らしてその課題解決に取り組んでいます。

「広報にちなん」では、各まち(むら)づくり協議会が今年度重点的に行う活動を、今月から2号にわたってご紹介します。

## 大宮まちづくり協議会

―「憩いの場」「集いの場」としての

まち協カフェの更なる発展―

大宮地域振興センターは、たたら資料など地域の魅力を紹介した展示品が充実しており、地域内外から見学者が来訪されます。しかしながら、休憩施設等が地域内に不足しているのが課題となっていました。

また、地域住民の高齢化により、人と人の交流活動が減少していることもあり、「憩いの場」「集いの場」を求める声も多くありました。

そこで、令和4年10月に「まち協カフェきぐうの森」を立ち上げました。

まち協カフェは、集落支援員がスタッフとなって週2日オープンしています。カフェの取り組みは地域のみなさんにも大好評で、令和5年3月末までに約250人が利用されました。

これまでに、地域住民が持ち寄ったひな人形や鯉のぼりの特別展示を行うなど、工夫を凝らした企画も実施しています。

今年度はこの取り組みを発展させ、地域振興センター裏にあるピザ窯の修繕を行い、まち協カフェでのピザの提供やピザ作り教室などのイベント開催を計画しています。

また、センター裏庭に四季折々の花を植えて景観を整備し、野外カフェを開催したいと考えています。

これにより、地元だけでなく他地域の方との交流を積極的に行い、大宮地域の活性化を図るとともに、関係人口を増やしていきたいと思っています。



こどもの日に合わせ、カフェで鯉のぼりや兜飾りの特別展示を行いました。地域の方が描かれた武者絵のぼりも展示し、多くの来場がありました。



地域の方の協力も得ながら、精力的にセンター裏庭の整備に取り組んでいます。最近、ハーブガーデンにも花が咲き始めました。

## 日野上まちづくり協議会

―「地域間交流施設」の有効活用と

日野上イチョウの更なるPR―

日野上まちづくり協議会では、「元氣・勇気・やる気のまちづくり」をテーマに、5ヶ年計画を作成・実行しています。その中の一つとして、豊かで楽しく暮らせる充実した地域づくりのため、イベント等による地域PR活動の強化を目標に掲げています。

令和3年にJR生山駅が無人化となったことにより、町の玄関口がとてもし寂しく感じるという地元の声が寄せられました。そこで、コミュニティカフェ「一歩」の閉店後ほほ利活用のな

かった生山駅構内の「地域間交流施設」(無料休憩所)を、グループ活動やカフェの開催などに活用し、地域内外の方が集い交流することができるよう所として再生したいと考えています。

また、観光や移住・定住に関する情報のアピール拠点や町内外の方が気軽に利用できる展示スペースとしての活用も進めていきたいと思っています。「コミュニティビジネスの成功」を目指し、施設の魅力アップに努めていきます。

今年度のもう一つの活動の柱は、日野上イチョウのPR活動の継続とイベント来場者の満足度向上です。

令和4年度から山里Roadにちなんが運営主体となりシャトルバス運行や駐車場・会場管理を行っています。日野上まち協としても来場者の満足度をより高めるため、会場内でもおもてなしの更なる充実を目指します。



毎週木曜日に生山駅構内の無料休憩所で、コミュニティカフェ「にちやんこカフェ」をオープンしています。地域のみなさんにも大好評です。



日野上イチョウについては、SNS等での情報発信を継続し、来場者に配布するノベルティグッズを拡充するなど、より多くの来場者へPRを行う予定です。